

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 中国財務局長

【提出日】 平成25年8月13日

【四半期会計期間】 第24期第2四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

【会社名】 株式会社TRUCK - ONE

【英訳名】 TRUCK-ONE CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 小川 雄也

【本店の所在の場所】 山口県下松市生野屋南三丁目3番40号

【電話番号】 0833 - 44 - 1100(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 福谷 良昭

【最寄りの連絡場所】 山口県下松市生野屋南三丁目3番40号

【電話番号】 0833 - 44 - 1100(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 福谷 良昭

【縦覧に供する場所】 証券会員制法人福岡証券取引所
(福岡県福岡市中央区天神二丁目14番2号(福岡証券ビル))

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第23期 第2四半期 連結累計期間		第24期 第2四半期 連結累計期間		第23期	
		自 至	平成24年1月1日 平成24年6月30日	自 至	平成25年1月1日 平成25年6月30日	自 至	平成24年1月1日 平成24年12月31日
売上高	(千円)		2,287,154		2,183,575		4,229,287
経常利益又は経常損失()	(千円)		2,476		3,117		100,035
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失()	(千円)		10,772		1,647		84,016
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		12,438		3,423		84,983
純資産額	(千円)		525,127		450,682		450,298
総資産額	(千円)		2,759,076		2,734,142		2,783,875
1株当たり四半期純利益金額又 は四半期(当期)純損失金額()	(円)		446.52		67.77		3,471.03
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		19.0		16.5		16.2
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		107,160		113,436		275,947
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		150,050		43,196		389,600
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		127,846		114,088		143,053
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		326,502		227,098		270,946

回次		第23期 第2四半期 連結会計期間		第24期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成24年4月1日 平成24年6月30日	自 至	平成25年4月1日 平成25年6月30日
1株当たり四半期純損失金額 ()	(円)		863.70		103.49

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第23期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。
4. 第24期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
5. 第23期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済環境としては、円安や株高が進行するなど輸出関連企業を中心に企業業績も改善がみられGDPの上昇等景気好転の兆しが表れているものの、中東情勢の不安定化や中国を中心とした新興国の成長鈍化等により依然として不透明な状況で推移しました。

当社グループの主力事業である商用車関連事業は、主要な取引先となる建設・土木関連及び運送関連ユーザーの設備投資マインドが燃料価格上昇の影響もあり依然として慎重姿勢であることから、取引量及び損益面へ影響いたしました。

運送関連事業につきましては、子会社である株式会社T.L.Gと丸進運油株式会社が主要な事業として行っており、受注高が伸び悩んだ影響により売上及び利益が前年同期を下回ることになりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績としては、売上高2,183,575千円（前年同期比4.5%減）、営業損失2,034千円（前年同四半期は営業利益1,128千円）、経常利益3,117千円（前年同四半期は経常損失2,476千円）、四半期純利益1,647千円（前年同四半期は四半期純損失10,772千円）となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりです。

商用車関連事業

事業用車両の販売が減少したことにより、商用車関連事業の売上高は1,770,661千円（前年同期比2.4%減）、セグメント損失は4,380千円（前年同四半期はセグメント損失9,563千円）となりました。

運送関連事業

運送貨物の既存の取引先からの受注が減少したことにより、運送関連事業の売上高は412,914千円（前年同期比12.6%減）、セグメント利益は281千円（前年同期比97.4%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ43,847千円減少し、227,098千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は113,436千円(前年同期比6,275千円の資金増加)となりました。主な要因は、たな卸資産97,790千円の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は43,196千円(前年同期比106,854千円の資金増加)となりました。主な要因は、固定資産41,525千円の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は114,088千円(前年同期比241,934千円の資金減少)となりました。主な要因は、割賦債務82,387千円の返済によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	102,080
計	102,080

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	25,520	25,520	福岡証券取引所 (Q-Board市場)	(注)
計	25,520	25,520		

(注) 単元株制度を採用していないため、単元株式数はありません。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年6月30日		25,520		97,725		42,125

(6) 【大株主の状況】

氏名又は名称	住所	平成25年6月30日現在	
		所有株式数 (株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
小川 澄雄	山口県周南市	7,680	30.09
高谷 正一	山口県光市	2,176	8.53
小川 サトノ	山口県周南市	2,000	7.84
小川 雄也	山口県周南市	1,328	5.20
小川 真也	山口県周南市	1,328	5.20
小川 珠里	山口県周南市	1,280	5.02
桜井 誠	横浜市青葉区	964	3.78
柳 宏司	福岡県糟屋郡粕屋町	924	3.62
野上 祐典	名古屋市瑞穂区	828	3.24
株式会社西京銀行	山口県周南市平和通1丁目10-2	568	2.23
計		19,076	74.75

- (注) 1. 当社は平成25年6月30日現在、自己株式1,208株(4.73%)を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。
2. 小川澄雄氏は平成25年3月19日に逝去しましたが、平成25年6月30日現在、名義書換未了のため、株主名簿上の名義で記載しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,208		
完全議決権株式(その他)	普通株式 24,312	24,312	
単元未満株式			
発行済株式総数	25,520		
総株主の議決権		24,312	

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株)TRUCK-ONE	山口県下松市生野屋南3-3-40	1,208		1,208	4.73
計		1,208		1,208	4.73

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、ACアーネスト監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	302,967	259,119
受取手形及び売掛金	1 247,086	1 290,754
商品及び製品	963,015	1,020,147
仕掛品	39,608	13,181
原材料及び貯蔵品	6,923	2,378
繰延税金資産	2,659	67,729
その他	29,283	25,024
貸倒引当金	843	822
流動資産合計	1,590,700	1,677,513
固定資産		
有形固定資産		
賃貸用資産(純額)	253,036	202,702
土地	418,040	429,994
その他(純額)	314,731	266,919
有形固定資産合計	985,807	899,616
無形固定資産合計	10,703	8,855
投資その他の資産		
投資有価証券	66,608	75,305
長期前払費用	1,729	1,453
破産更生債権等	1,189	1,189
繰延税金資産	71,468	12,870
敷金及び保証金	23,121	23,289
その他	33,560	35,063
貸倒引当金	1,014	1,014
投資その他の資産合計	196,663	148,156
固定資産合計	1,193,174	1,056,628
資産合計	2,783,875	2,734,142
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	159,344	140,319
短期借入金	1,210,000	1,210,000
1年内返済予定の長期借入金	131,142	127,382
リース債務	51,666	41,117
未払金	105,057	94,955
未払法人税等	6,808	6,645
賞与引当金	1,172	8,207
その他	20,555	17,883
流動負債合計	1,685,746	1,646,511

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
固定負債		
長期借入金	415,728	438,036
リース債務	99,900	72,869
長期未払金	81,790	75,119
退職給付引当金	49,113	46,781
その他	1,297	4,141
固定負債合計	647,829	636,948
負債合計	2,333,576	2,283,459
純資産の部		
株主資本		
資本金	97,725	97,725
資本剰余金	44,955	44,955
利益剰余金	317,436	316,045
自己株式	7,782	7,782
株主資本合計	452,334	450,943
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,036	260
その他の包括利益累計額合計	2,036	260
純資産合計	450,298	450,682
負債純資産合計	2,783,875	2,734,142

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,287,154	2,183,575
売上原価	1,993,990	1,929,070
売上総利益	293,164	254,505
販売費及び一般管理費	292,035	256,539
営業利益又は営業損失()	1,128	2,034
営業外収益		
受取利息	274	389
受取配当金	318	337
受取保険金	403	2,271
補助金収入	3,020	-
持分法による投資利益	-	5,889
その他	3,640	8,053
営業外収益合計	7,657	16,941
営業外費用		
支払利息	10,262	11,535
その他	1,000	254
営業外費用合計	11,262	11,789
経常利益又は経常損失()	2,476	3,117
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	2,476	3,117
法人税、住民税及び事業税	15,508	5,791
法人税等調整額	7,212	4,322
法人税等合計	8,296	1,469
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	10,772	1,647
四半期純利益又は四半期純損失()	10,772	1,647

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	10,772	1,647
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,665	1,775
その他の包括利益合計	1,665	1,775
四半期包括利益	12,438	3,423
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,438	3,423
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	2,476	3,117
減価償却費	76,447	85,707
貸倒引当金の増減額(は減少)	227	20
賞与引当金の増減額(は減少)	19,635	7,035
退職給付引当金の増減額(は減少)	2,892	2,331
受取利息及び受取配当金	592	726
支払利息	10,262	11,535
持分法による投資損益(は益)	-	5,889
売上債権の増減額(は増加)	97,813	48,194
たな卸資産の増減額(は増加)	237,801	97,790
未収入金の増減額(は増加)	3,674	899
仕入債務の増減額(は減少)	142,210	16,333
未払金の増減額(は減少)	15,875	5,339
未払費用の増減額(は減少)	395	677
未収消費税等の増減額(は増加)	11,466	-
未払消費税等の増減額(は減少)	19,632	491
その他	8,829	1,353
小計	118,706	129,770
利息及び配当金の受取額	594	728
利息の支払額	10,115	11,107
法人税等の支払額	2,024	5,955
営業活動によるキャッシュ・フロー	107,160	113,436
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	200	0
定期預金の払戻による収入	1,500	-
固定資産の取得による支出	149,950	41,525
貸付金の回収による収入	840	300
その他の支出	3,021	2,486
その他の収入	781	516
投資活動によるキャッシュ・フロー	150,050	43,196
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	200,000	-
長期借入れによる収入	43,680	100,000
長期借入金の返済による支出	85,546	81,452
割賦債務の返済による支出	12,543	82,387
リース債務の返済による支出	13,215	47,265
配当金の支払額	5,900	2,982
自己株式の売却による収入	1,372	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	127,846	114,088

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	84,956	43,847
現金及び現金同等物の期首残高	241,545	270,946
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 326,502	1 227,098

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日至平成25年6月30日)	
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	
当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。	
なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。
なお、当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	233千円	233千円

- 2 自由処分権を有する担保受入金融資産の時価

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
担保受入有価証券	15,211千円	19,147千円

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
給与手当	61,590千円	54,664千円
賞与引当金繰入額	9,454千円	

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
現金及び預金	358,522千円	259,119千円
預入期間が3か月を超える定期預金	32,020千円	32,021千円
現金及び現金同等物	326,502千円	227,098千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月22日 定時株主総会	普通株式	6,022	250	平成23年12月31日	平成24年3月23日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年8月10日 取締役会	普通株式	3,018	125	平成24年6月30日	平成24年9月10日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月22日 定時株主総会	普通株式	3,039	125	平成24年12月31日	平成25年3月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年8月13日 取締役会	普通株式	6,078	250	平成25年6月30日	平成25年9月9日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	商用車 関連事業	運送 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,814,942	472,212	2,287,154		2,287,154
セグメント間の内部売上高 又は振替高	46,584	29,016	75,601	75,601	
計	1,861,526	501,228	2,362,755	75,601	2,287,154
セグメント利益又は損失()	9,563	10,723	1,160	32	1,128

- (注)1 セグメント利益又は損失()の調整額 32千円は、セグメント間取引消去であります。
2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	商用車 関連事業	運送 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,770,661	412,914	2,183,575		2,183,575
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,752	20,894	33,647	33,647	
計	1,783,414	433,808	2,217,222	33,647	2,183,575
セグメント利益又は損失()	4,380	281	4,099	2,064	2,034

- (注)1 セグメント利益又は損失()の調整額2,064千円は、セグメント間取引消去であります。
2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()	446円52銭	67円77銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	10,772	1,647
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(千円)	10,772	1,647
普通株式の期中平均株式数(株)	24,126	24,312
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前 連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 1. 第23期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であるため、記載しておりません。

2. 第24期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

当社の前代表取締役社長 故小川澄雄氏に対し、付保してありました生命保険より平成25年7月に支払認定が行われ受取額が確定したため、平成25年12月期第3四半期に保険金受取による特別利益347,168千円が発生することとなりました。

なお、当期中に同氏に対して弔慰金、功労金の支払いを検討しております。

2 【その他】

第24期(平成25年1月1日から平成25年12月31日)中間配当につきましては、平成25年8月13日開催の取締役会において、平成25年6月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 6,078千円

1株当たりの金額 250円

支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成25年9月9日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月12日

株式会社TRUCK - ONE

取締役会 御中

ACアーネスト監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 奥田 伸一 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 和田 治郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社TRUCK - ONEの平成25年1月1日から平成25年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年1月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社TRUCK - ONE及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。